



\\ ピグマキッズクラブの 3 年生 N・E さん が えらんだ //

「ぼくの わたしの すきな 本」



こんな本だよ



(出版社: 偕成社)

この本のここがすき!

この本を読んだきつかけは、本のタイトルです。なぜならえんそくは、楽しいはずなのに、なぜこわくて、あぶないか、気になったからです。

みちことオーちゃんがおちたあなの外は、黒ぐろとした大きな森でした。二人はそこで、いろいろな昔話やおとぎ話のしゅ人公たちに会って、何でもあぶない目にあります。二人がもとの世界にもどれるのかとてもドキドキしました。さい後には、ミミのらく書きした地図にまよいこんだと気づき、力を合わせてだつ出することができました。ぼくは、ルールをまもって楽しい遠足にしたいです。

この本は、森林公園へのえんそくで、グループに分かれてオリエンテーリングへ行ったみちことという女子が、地図をたよりに、オーちゃんと出発したのですが地図のうらに妹のミミにらくがきされたせいで、みちことオーちゃんがふかいあなの中にすいこまれてうらの世界をぼっけんするお話です。

本の名前
なまえ

えんそく こわいぞ あぶないぞ

本を書いた人
か

末吉 暁子(作) / 和歌山 静子(絵)
すえよし あきこ (さく) / わかやま しずこ (え)

みちこが迷い込んだ不思議な世界でおこる、予想外な出来事。

みちことオーちゃんは元の世界に戻るため、さまざまな困難に立ち向かうよ。みちこのキャラクターが印象的!

